

リフォーム向けが大幅に伸びる 非住宅向けが1.4%増加

本紙は4月上旬にブランドメーカーと二次卸店に2013年度の壁紙需要先を聞くアンケートを行った。

その結果、住宅向け62%、非住宅向け38%で、前年度と比べ非住宅の比率が1.4ポイント増加していた。

一方、両需要先全体での新築とリフォームの比率を聞いた結果は、リフォームが前年比3.8ポイントと大幅な伸びを示していた。

また同年度の壁紙出荷量を726,000千㎡と推計し、需要先別構成比を当てはめて見ると、住宅向けは450,120千㎡、新築向けは446,490千㎡であった。

アンケート質問項目

(1)壁紙の販売数量での住宅と非住宅向けの比率

(2)非住宅向けの需要先は、

①商業建築(ホテル、店舗、飲食店、会館、結婚式場等)

②学校、病院、体育館、スポーツ施設、教育教養施設

③官公庁、オフィス等

④その他

がどういう比率だったか。

(3)売上げた数量の、新築とリフォームの比率

住宅・非住宅の比率は表1で見ると通りで、前年度は非住宅が36.6%だったのに比べ、今回は、38%と増加している。

非住宅向けの内訳を見ると、表2で見ると通りで②学校、病院と④その他が前年度より増え、他の比率は減少している。しかし、出荷量ではいずれも増である。

新築とリフォームの比率は、表3で見ると通りで、ブランドメーカーの売上げ数量では、新築が58.8%、

リフォームが41.2%。二次卸店では新築が62.4%、リフォームが37.6%。両者合計の平均値では、新築が61.5%、リフォームが38.5%となっている。

アンケート調査 2013年度の壁紙需要先

表1 2013年度壁紙需要先比率 住宅・非住宅(%)

業態	住宅	非住宅
ブランドメーカー	55.9	44.1
二次卸	64.3	35.7
平均	62.0	38.0

表3 2013年度壁紙需要先比率 新築・リフォーム(%)

業態	新築	リフォーム
ブランドメーカー	58.8	41.2
二次卸	62.4	37.6
平均	61.5	38.5

表4 2013年度壁紙需要先比率と需要量(%、千㎡)

需要先	構成比	需要量
新築	61.5	446,490
リフォーム	38.5	279,510

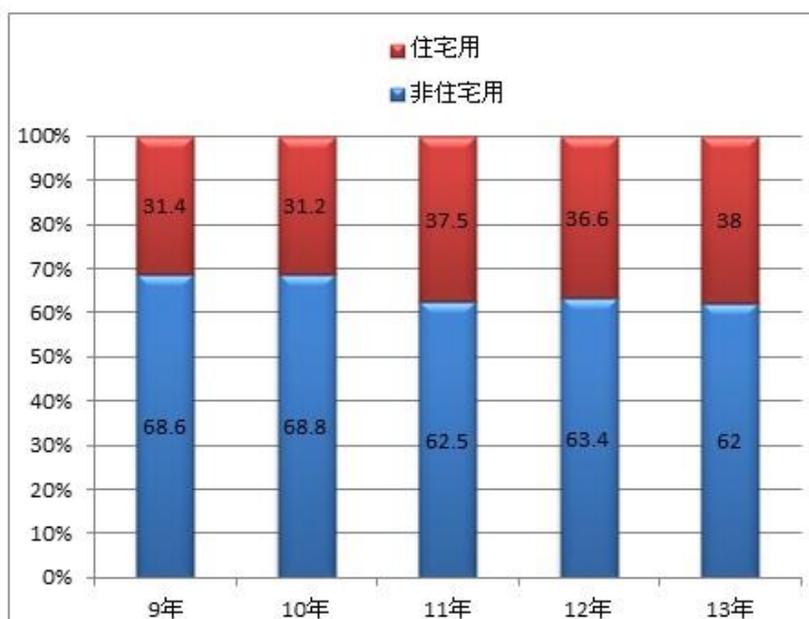


表2 需要先別の壁紙需要の推移(2011-2013)

単位:%、千㎡

	2011年度		2012年度		2013年度	
	構成比	需要量	構成比	需要量	構成比	需要量
住宅用	62.5	417,200	63.4	426,000	62.6	450,120
非住宅用	37.5	250,300	36.6	245,900	38.0	275,880
①商業建築	44.2	110,600	47.9	118,000	46.0	126,905
②学校・病院等	21.1	52,800	22.4	55,000	23.7	65,384
③オフィス	21.7	54,400	18.0	44,000	16.8	46,348
④その他	13.0	32,500	11.7	29,000	13.5	37,243
合計	100.0	667,300	100.0	672,000	100.0	726,000

壁装新聞(第410号)より引用